



ひぐuchi 英明

京都市会議員

日本共産党

9月決算市会報告

URL <http://higuchi-hideaki.jp> ① h-hide@myad.jp ② ③

9月決算市会で厳しく追及

市民への負担押し付け次々と

介護保険改悪・高すぎる国民健康保険料・敬老乗車証の改悪方針…

決算市会(9月21日～10月26日)が終わりました。決算を見るうえで重要なのは、「市民の暮らしをしっかりと支援できたかどうか」という視点ですが、この観点からいえば決算は赤点の落第です。

昨年度は、「京プラン(京都市基本計画)」前期実施計画の最終年度。介護保険の改悪、高すぎる国民健康保険料の押し付け、敬老乗車証の改悪方針を変えないなど、市民への負担押し付けが続けられてきました。この点を厳しく指摘し、転換を求めましたが、市長は反省をすどころか、今後も方針を変えない、と開き直りました。

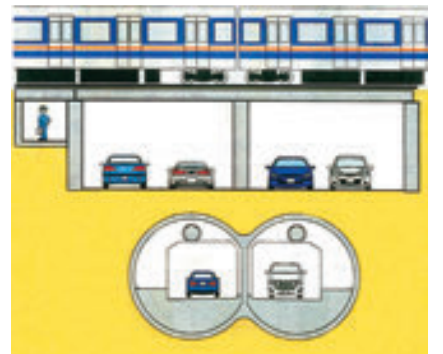
その一方で新たなムダ遣いに走る方針

堀川地下トンネル道路計画(1200億円?)と北泉通の橋りょう建設計画

市長は、堀川通の地下に五条通から十条通まで地下トンネル道路をつくる計画を打ち出しました。これは、総事業費1,200億円と言われていた高速道路堀川線の復活にほかなりません。

また、総事業費が12億円以上かかるとしている北泉通の高野川への橋りょう建設工事は、周辺地域のみなさんから「住宅地に車を呼び込む計画はやめてほしい」「そんな橋をつくるより、今でも危ない道路の安全対策こそしてほしい」との要望が噴出している工事です。ところが、市長は住民の声に全く耳を傾けようとしません。

私は、堀川地下トンネルというムダな大型事業や、住民がやめてほしいと言っている橋の建設を行うのではなく、市民の暮らしをしっかりと支援するよう市長に求めました。



堀川地下トンネル道路整備イメージ(市資料より)



児童館近くの狭く交通量の多い北泉通付近この住宅地に大量の車を呼び込む計画

住む人と観光客の双方が満足できる観光政策を

ホテル誘致促進のための規制緩和では、京都のまちが壊される

京都市は、ホテルを誘致するための方針を発表しました。この内容は今後も外国人観光客が増え続けることを前提に、ホテルを呼び込もうというもので、容積率の緩和などの都市計画の変更、本来ホテルが建てられない住居専用地域への特例許可など、ホテル建設のためにまちづくりのルールを壊してしまおうとしています。

私は、①京都市が本来すべきことは、

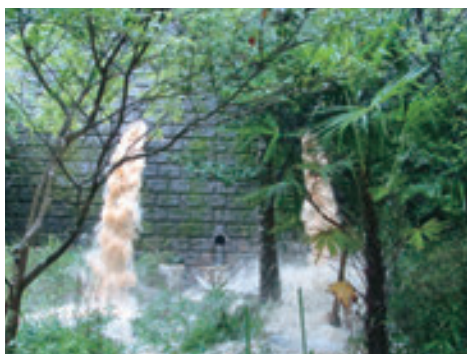
京都に暮らす人たちの生活を守ること、
②今あるホテルなどの正規雇用率(現在は25%)を引き上げる対策を取ること、
③ホテルなどが地元から食料や物品などを仕入れるよう指導すること、と提案しています。これらを実行してこそ、住民と観光客が共に満足できるし、観光が地域経済の活性化につながります。



地域の要求に応えるために東奔西走

市原でえん堤脇に水路完成

市原町で、雨が降ると家の裏のえん堤から出る水が家の庭から床下流れ込んで大変、との相談がありました。「静地域要求を実現する連絡会」のみなさんと一緒に、国や土木事務所などと、粘り強く要望を行った結果、えん堤の脇の国有地に、排水用の水路を造っていただきました。



えん堤から激しく水が出ている様子を家の中から撮影



えん堤の脇に水路が完成写真右側に住宅がある